

特 徴

アンデレ宣教神学院の特徴をまとめると以下のようになります。

クリスチャン・ビジネスマンのための神学校

当神学院は、日本における福音宣教の可能性に挑戦するため、特に現在、実社会で活躍するクリスチャン・ビジネスマンを主たる教育対象としています。現在に至るまで実行に移し得なかった献身への決意を、現実のものとしてすることができます。具体的には、年3学期・18スクーリング制の採用により、クリスチャン・ビジネスマンが現在の仕事を断念することなく、実社会での影響力とキリストにある証しの現実性を保ちつつ、牧師、伝道者となるための学びができるよう配慮されています。

実践派の献身者のための神学校

すでに、牧会・伝道活動をはじめていたり、教会の働きから離れない献身者の活動を積極的にサポートします。集中スクーリング方式の採用により、学期中であっても月に1週間程度（それも基本的には月～土曜日の6日間）各教会を離れるだけで学びを継続することが出来ます。また、授業で取り扱われた内容も、すぐ牧会・伝道活動に応用することのできる実践的なものばかりです。

純粋な信仰

聖書を靈感によって書かれた生ける神の御言葉と認め、イエス・キリストの十字架の死と復活によってのみ与えられる救いと新生を信仰生活の土台とします。信仰をただ概念的なものとして捉えず、実際に信仰によって生きることを学生が体得することを目指します。

徹底した学び

牧師・伝道者が専門職であることを正確に捉え、この専門職のために必要不可欠な学術面における情報を学生が徹底的に吸収できるようカリキュラムが整備されています。伝統的な神学教育による学びをすすめると同時に、福音宣教を必要とする実社会の現実性・現代性を直視し、現代人のありのままの生活に適用する信仰の実践を支える知識・理論を体系的に網羅します。

妥協のない実践

神学校教育が勉強のための勉強に終始することなく、常に現実の救霊の働きへのフィードバックがなされることが目標とされます。従来の福音宣教の限界に捉われることなく、牧師・伝道者が強烈な信仰をもつのみならず、実践的行動科学の採用により理論に基づく徹底した行動、妥協のない実践を身につけるよう指導がなされます。日本福音宣教会との協力態勢により、在学中からユニークな伝道の働きに着手することができ、また、万代栄嗣教務主任を始めとする、現代の福音宣教の第一線で活躍する牧師・伝道者による牧会・伝道コンサルタントを受けることができます。

敏感な霊性

学生が祈りの生活を発展させ、神との交わりの中に毎日の生活が構築されるよう指導されます。今も生きて働く神のみこころに常に敏感であり、聖霊の働きに常に対応し、その流れの中に福音宣教が実践されるための一信仰者として霊的覚醒が求められます。

超教派としての視点

当学院は、設立母体である日本福音宣教会の方針と同様、超教派的立場を維持します。よって、入学志願者は、必ずしも、日本福音宣教会に所属する教会員である必要はありません。また、学生は在学中及び卒業に際して、日本福音宣教会に対して、特別な責任等を負いません。当学院は、超教派の神学校として各派から学生を募集しています。